

# 2017年3月期 第3四半期決算説明会

2017年2月6日

## 資料取り扱い上の注意

- ・本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。

株式会社SCREENホールディングス  
代表取締役 取締役社長 最高経営責任者 (CEO)

垣内 永次

## 本日のアジェンダ

### 1. 2017年3月期 第3四半期 連結業績

### 2. セグメント別業績概況

### 3. 財務状況

### 4. 2017年3月期 業績予想

### 5. 中期3カ年経営計画について

### 6. その他のトピックス（最近の取り組みなど）

1. 2017年3月期 第3四半期 連結業績



2. セグメント別業績概況



3. 財務状況



4. 2017年3月期 業績予想



5. 中期3カ年経営計画について



6. その他のトピックス（最近の取り組みなど）



## 連結業績 <2017/3月期 第3四半期>

(億円)	2016/3月期						2017/3月期				前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	累計 (増減)	
売上高	561	737	530	1,828	768	2,596	622	738	738	2,100	271	14.9%
SE	347	472	320	1,140	517	1,658	412	503	506	1,423	282	24.8%
GP	147	165	138	451	161	612	114	146	120	381	▲70	▲15.6%
GA(印刷関連機器)	126	140	124	392	130	523	96	124	104	325	▲66	▲17.0%
PE(プリント基板関連機器)	20	25	13	59	30	89	18	21	16	55	▲3	▲6.0%
FT	63	96	69	228	87	315	93	86	108	287	59	25.9%
その他および調整	3	2	2	7	2	10	1	2	3	7	0	1.0%
営業利益	32	75	41	149	85	235	51	70	91	213	63	42.4%
営業利益率	5.9%	10.2%	7.9%	8.2%	11.2%	9.1%	8.2%	9.6%	12.4%	10.2%	-	2.0pt
SE	21	58	30	109	77	187	43	60	80	184	75	68.7%
GP	9	7	4	22	9	31	▲1	10	2	11	▲11	▲49.4%
FT	1	14	6	22	5	27	12	5	11	29	7	33.5%
その他および調整	0	▲4	0	▲4	▲6	▲10	▲3	▲5	▲3	▲12	▲8	-
経常利益	34	71	41	147	84	231	50	66	90	207	60	40.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	22	62	34	119	68	188	37	57	68	163	43	36.5%

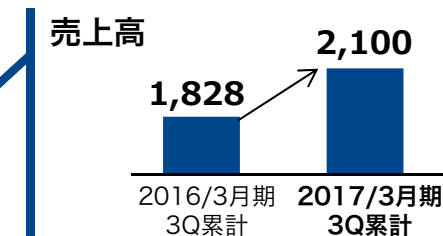
■ SE：セミコンダクターソリューション事業
 ■ GP：グラフィックアンドプレジジョンソリューション事業
 ■ FT：ファインテックソリューション事業

連結業績サマリー <2017/3月期 第3四半期>

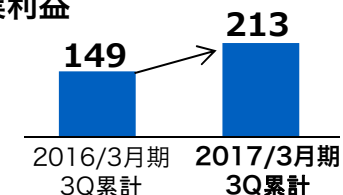
前年同期比

(億円)	2016/3月期	2017/3月期	増減	
	3Q累計	3Q累計		
売上高	1,828	2,100	271	14.9%
営業利益 営業利益率	149 8.2%	213 10.2%	63 2.0pt	42.4%
経常利益	147	207	60	40.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	119	163	43	36.5%

前年同期比



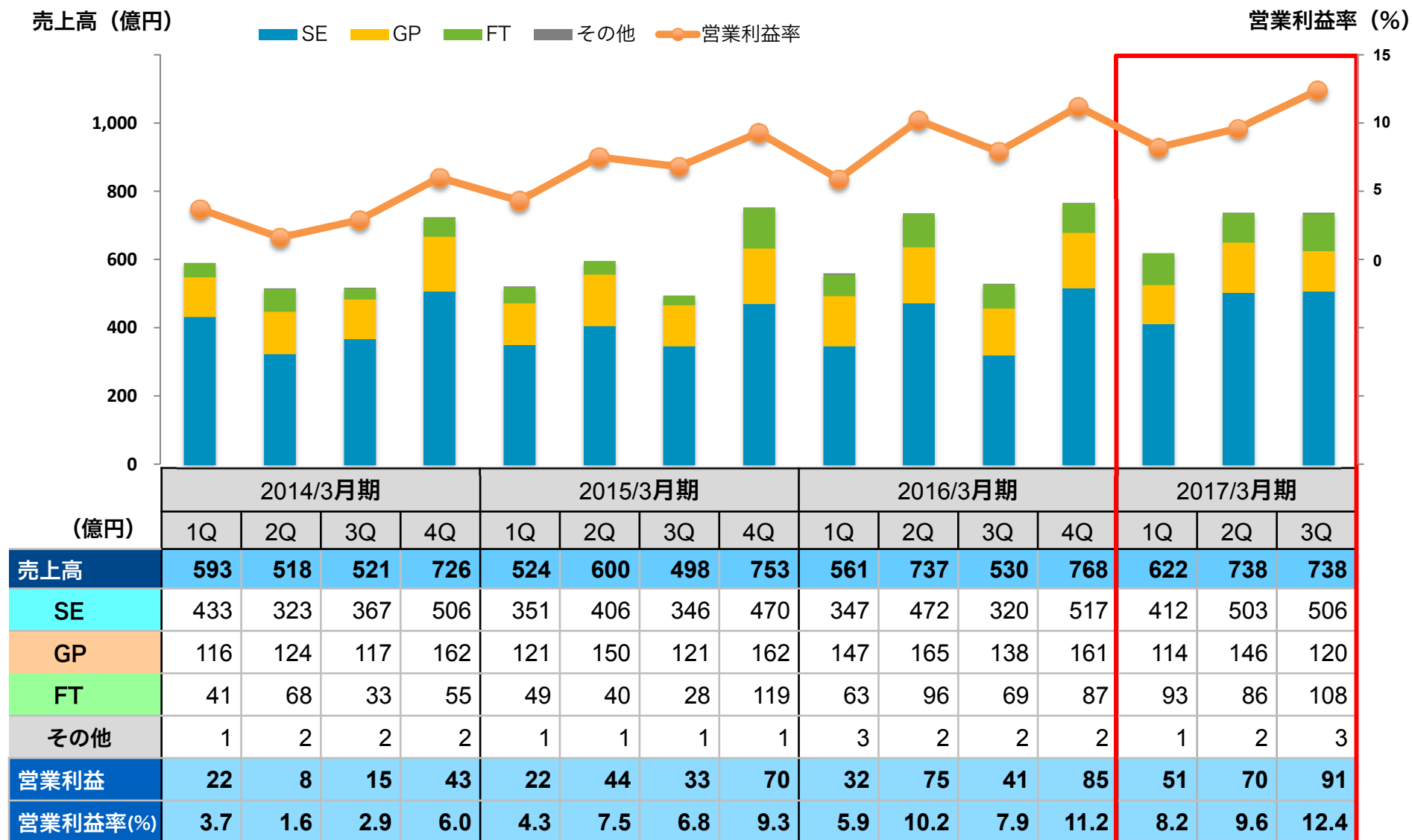
営業利益



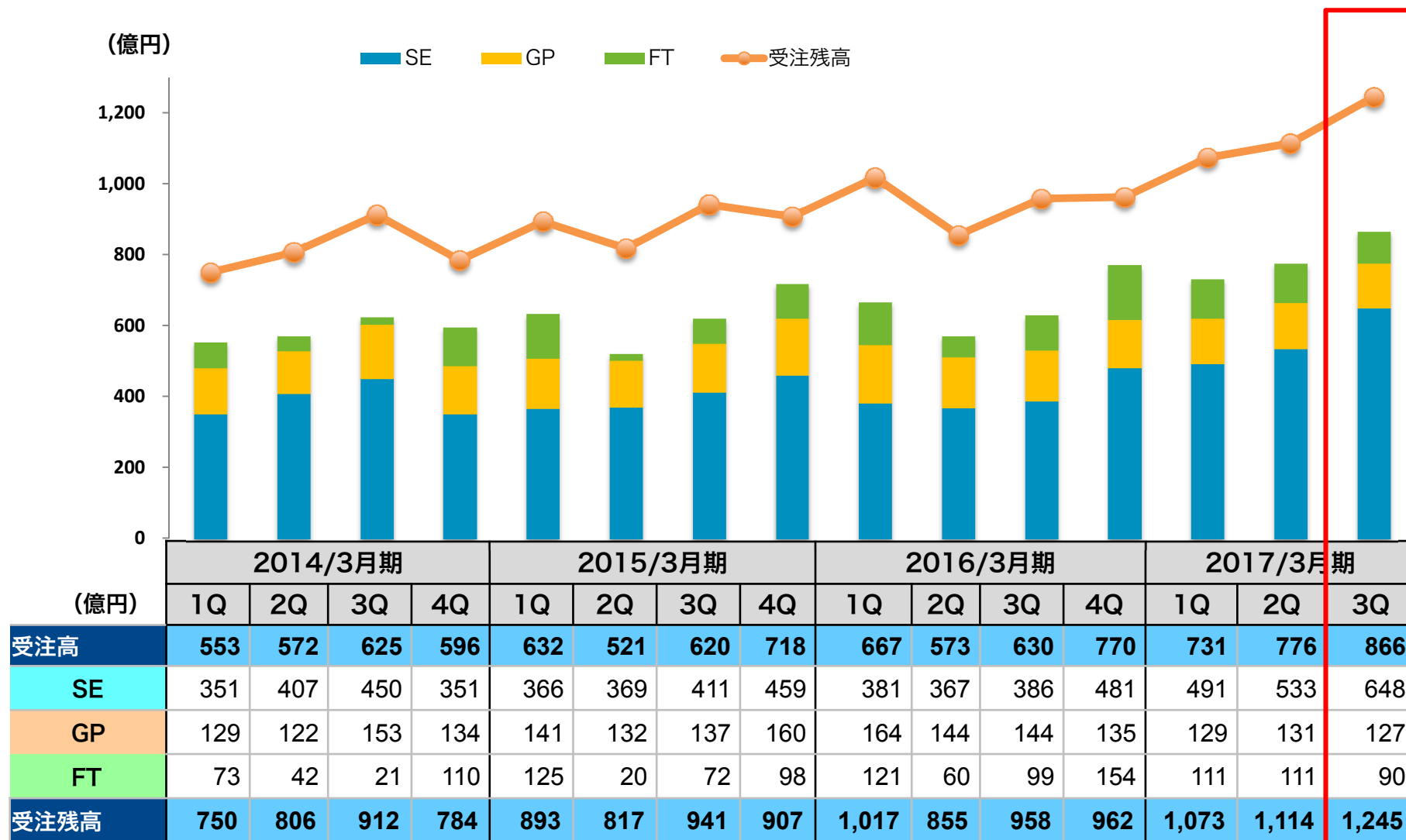
前四半期比

(億円)	2017/3月期	2017/3月期	増減	
	2Q	3Q		
売上高	738	738	0	0%
営業利益 営業利益率	70 9.6%	91 12.4%	20 2.8pt	29.6%
経常利益	66	90	24	36.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	57	68	11	19.8%

## 連結売上高/営業利益の四半期推移



### 連結受注高/受注残高の四半期推移



1. 2017年3月期 第3四半期 連結業績



2. セグメント別業績概況



3. 財務状況



4. 2017年3月期 業績予想



5. 中期3カ年経営計画について



6. その他のトピックス（最近の取り組みなど）





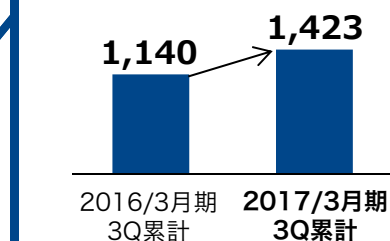
## セグメント別業績概況 <SEセグメント>

### 前年同期比

(億円)	2016/3月期	2017/3月期	増減	
	3Q累計	3Q累計		
売上高	1,140	1,423	282	24.8%
営業利益 営業利益率	109 9.6%	184 13.0%	75 3.4pt	68.7%

### 前年同期比

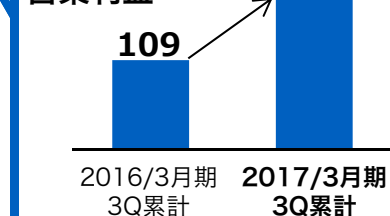
#### 売上高



### 前四半期比

(億円)	2017/3月期	2017/3月期	増減	
	2Q	3Q		
売上高	503	506	2	0.5%
営業利益 営業利益率	60 12.0%	80 16.0%	20 4.0pt	33.8%

#### 営業利益



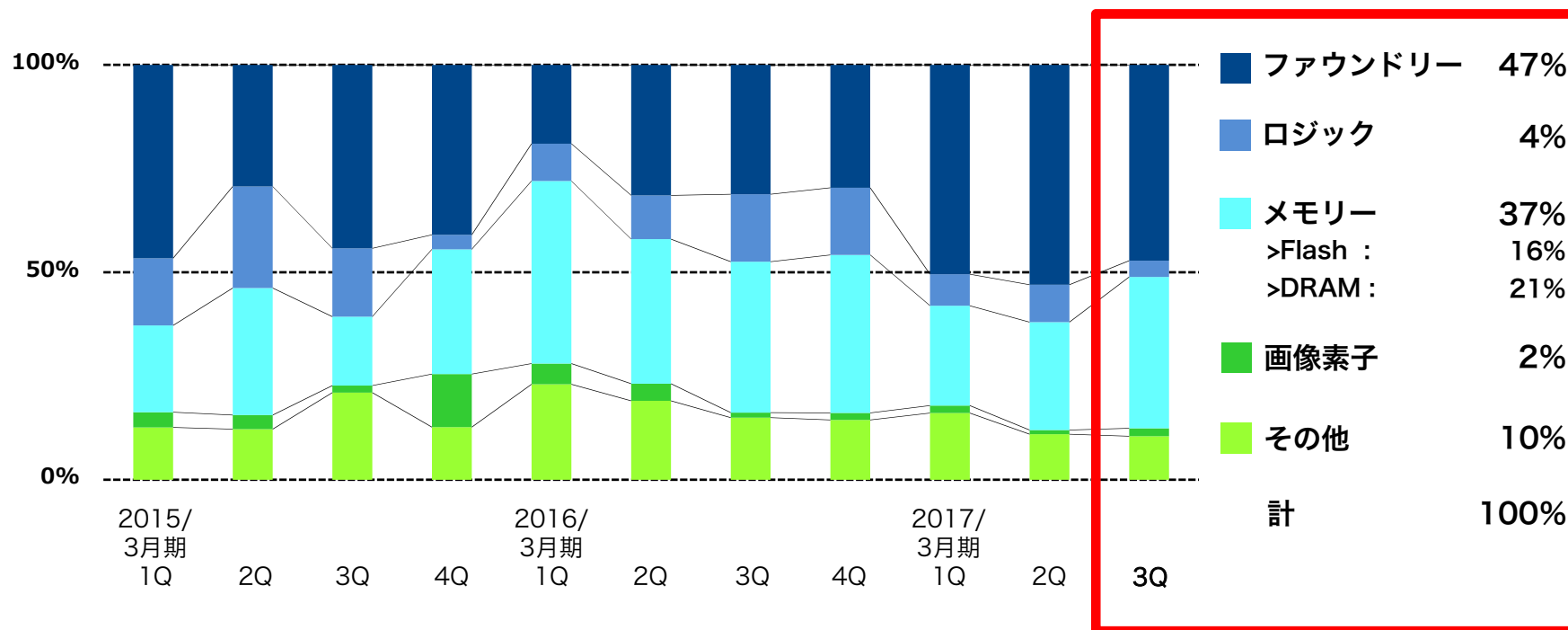
### トピックス

- 3Q累計前年同期比はファウンドリーの微細化投資、フラッシュメモリー（3D-NAND）の積極投資が引続き好調であったため大幅に増収増益となった。また、受注に関しても2Q比大幅増（2Q:533→3Q:648億円）、四半期では過去最高となった。
- 今期は、ファウンドリー、フラッシュメモリーが牽引して、売上・受注とも高いレベルをキープできそう。来期はやはり、ファウンドリー、フラッシュメモリーがドライバーとなり、加えて、DRAMの微細化投資も含め、活況な市場環境が維持されると予想する。

デバイス別／地域別受注比率・四半期推移 <SEセグメント>

単独・デバイス別受注比率

\*ご参考：連結受注高 648億円



地域別受注比率(2017/3月期 3Q)



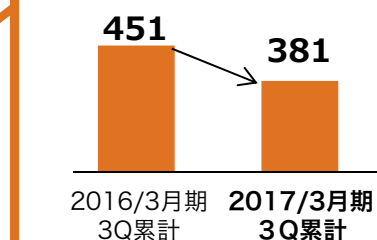
## セグメント別業績概況 <GPセグメント>

前年同期比

(億円)	2016/3月期	2017/3月期	増減	
	3Q累計	3Q累計		
売上高	451	381	▲70	▲15.6%
営業利益 営業利益率	22 5.0%	11 3.0%	▲11 ▲2.0pt	▲49.4%

前年同期比

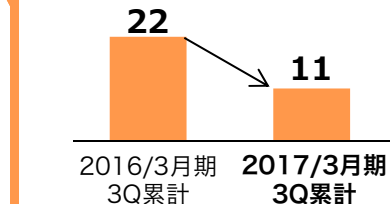
売上高



前四半期比

(億円)	2017/3月期	2017/3月期	増減	
	2Q	3Q		
売上高	146	120	▲25	▲17.3%
営業利益 営業利益率	10 7.0%	2 2.0%	▲7 ▲5.0pt	▲76.3%

営業利益



### トピックス

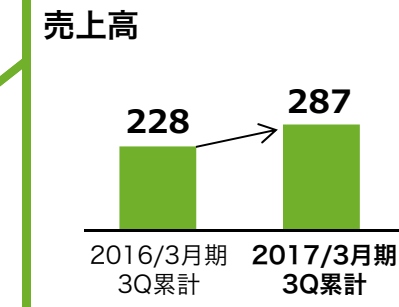
- 3Q累計の売上は前年同期比で、印刷関連（GA）は、期中の円高影響を受けて海外売上が減少。プリント基板関連（PE）は微減し、GP全体でも減収。営業利益は、変動費率の低減を図ったものの、売上減に伴って減益となった。
- 4Q以降、GAではPOD装置の販売強化を進め、収益改善を図る。PEは、直接描画装置の販売拡大を中心に、利益率のさらなる引き上げを目指す（4月1日に独立会社に）。

## セグメント別業績概況 <FTセグメント>

前年同期比

(億円)	2016/3月期	2017/3月期	増減	
	3Q累計	3Q累計		
売上高	228	287	59	25.9%
営業利益 営業利益率	22 9.7%	29 10.3%	7 0.6pt	33.5%

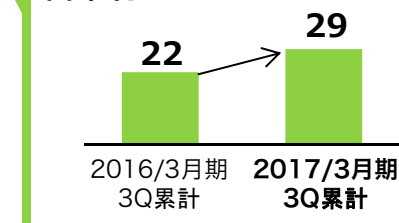
前年同期比



前四半期比

(億円)	2017/3月期	2017/3月期	増減	
	2Q	3Q		
売上高	86	108	22	25.6%
営業利益 営業利益率	5 5.9%	11 11.0%	6 5.2pt	136.3%

営業利益



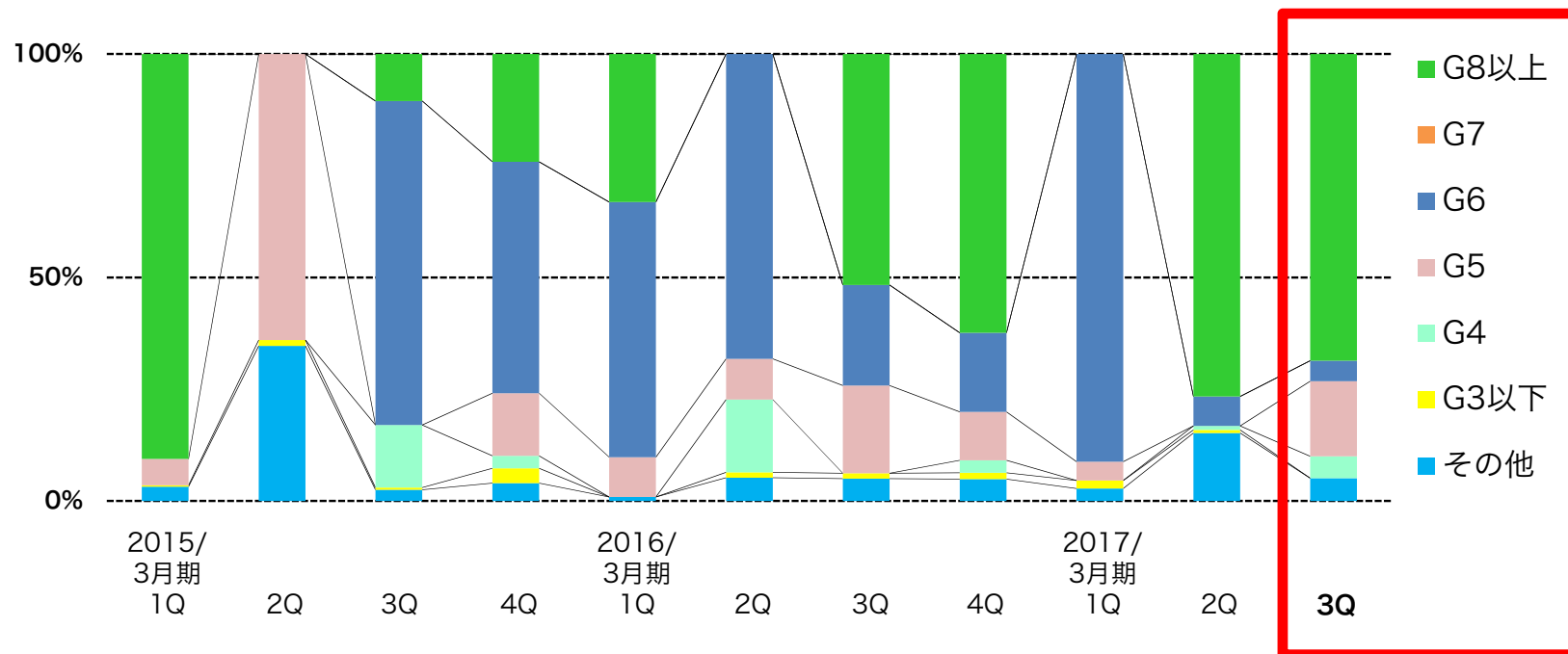
### トピックス

- 3Q累計では、中国向け大型装置は、投資時期の影響により一時的に減少したものの、国内や台湾向けの中小型装置が増加し、営業利益も10%以上を達成。
- 受注環境は、LCD中心に好調なレベルを継続し、OLED関連を含めた成膜関連など新規分野の増加は続く。

## 製品サイズ／地域別受注比率・四半期推移 <FTセグメント>

単独・製品サイズ別受注比率

\*ご参考：連結受注高 90億円



地域別受注比率(2017/3月期 3Q)



1. 2017年3月期 第3四半期 連結業績



2. セグメント別業績概況



3. 財務状況



4. 2017年3月期 業績予想



5. 中期3カ年経営計画について

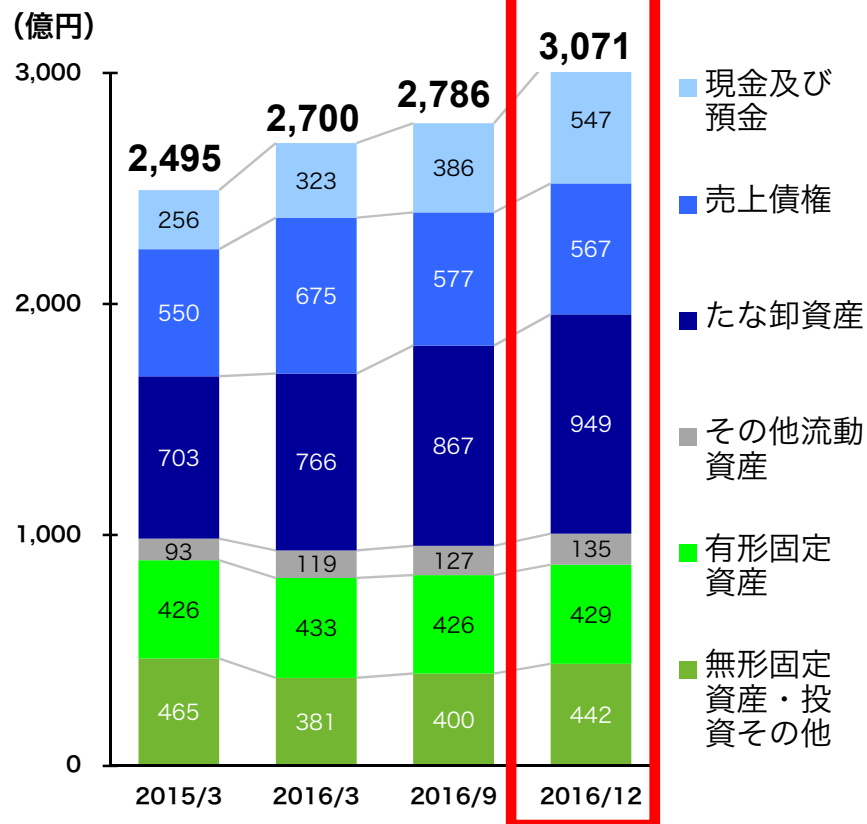


6. その他のトピックス（最近の取り組みなど）

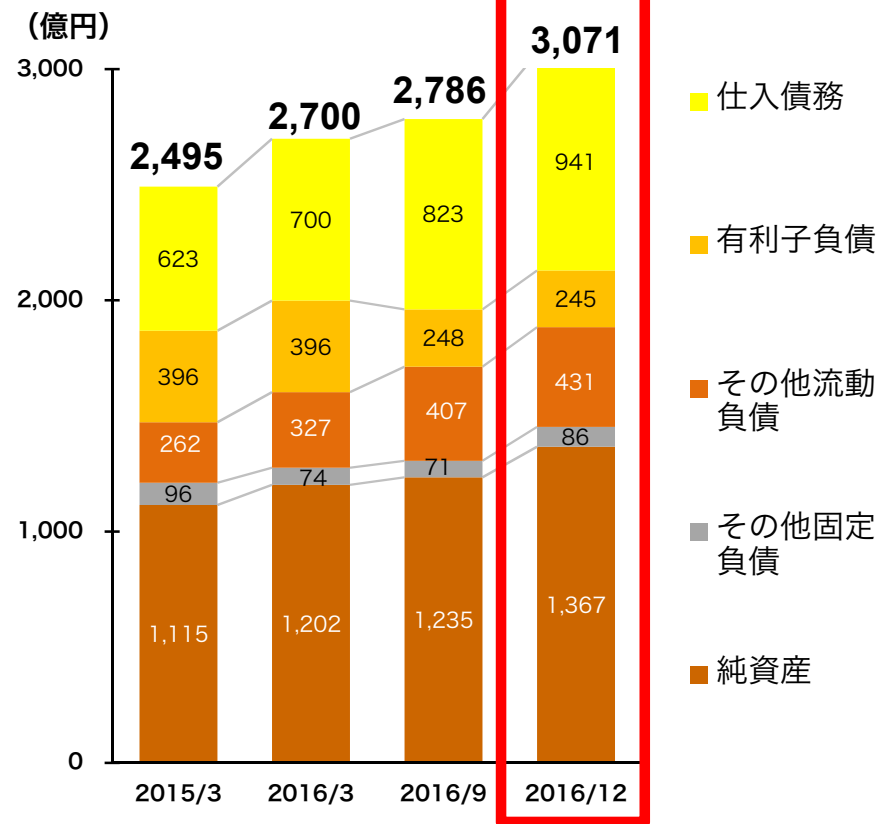


## 連結貸借対照表

### 資産の部



### 負債および純資産の部

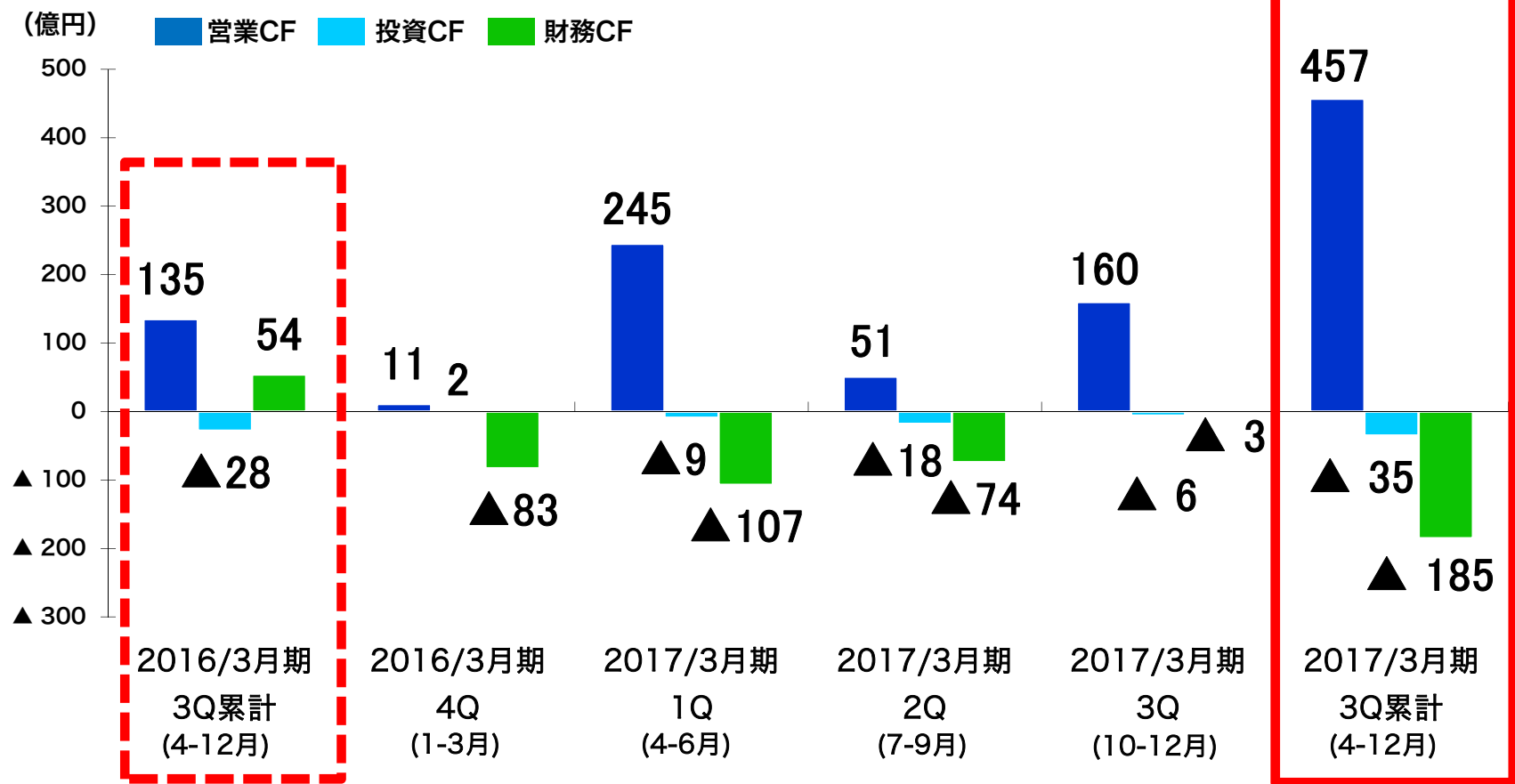


自己資本比率 44.3% (2016/3月末)



**44.5% (2016/12月末)**

連結キャッシュ・フロー

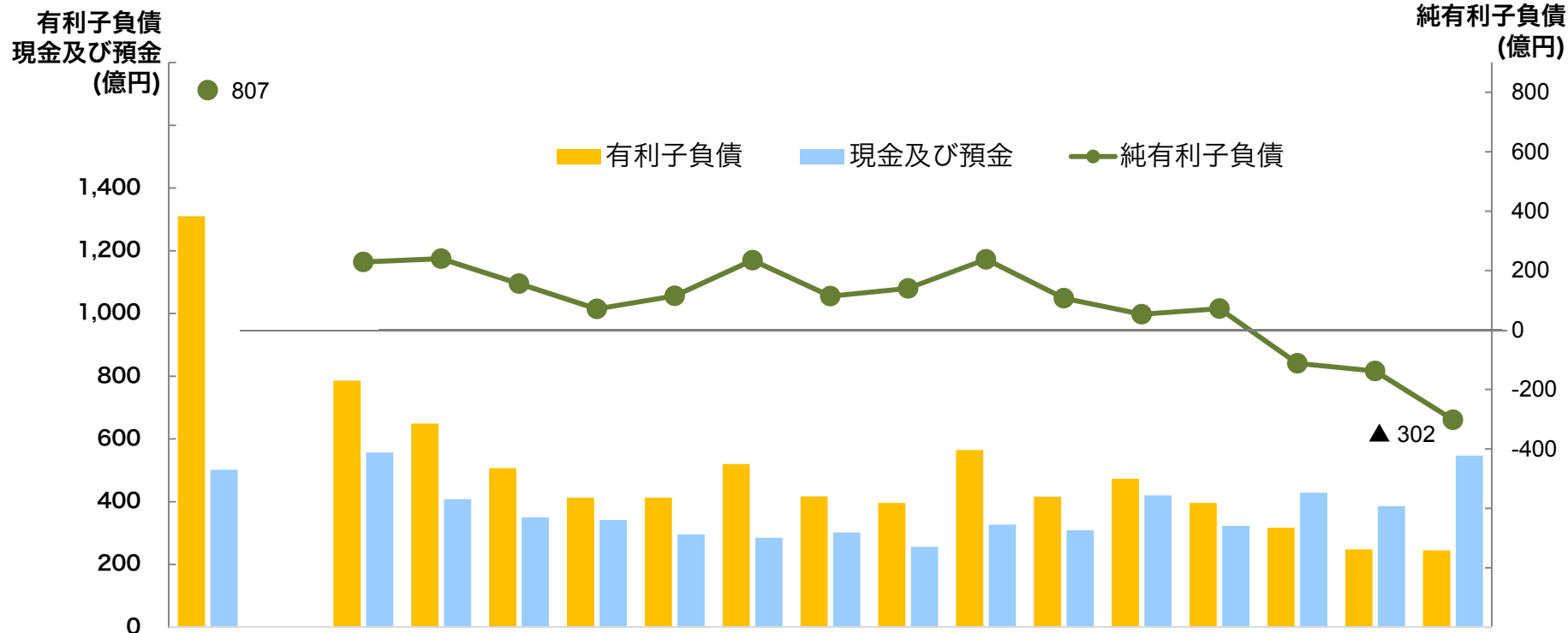


2017/3月期 3Q累計 フリーキャッシュ・フロー

422億円



## 連結有利子負債



	2010/ 3月期	2014/3月期				2015/3月期				2016/3月期				2017/3月期		
	6月 末	6月 末	9月 末	12月 末	3月 末	6月 末	9月 末	12月 末	3月 末	6月 末	9月 末	12月 末	3月 末	6月 末	9月 末	12月 末
有利子負債	1,310	786	649	507	413	413	520	417	396	565	416	473	396	317	248	245
現金及び預金	502	557	408	350	342	298	285	302	256	327	309	420	323	429	386	547
純有利子負債	807	229	240	156	71	115	235	114	140	238	107	53	72	▲112	▲138	▲302

1. 2017年3月期 第3四半期 連結業績



2. セグメント別業績概況



3. 財務状況



4. 2017年3月期 業績予想



5. 中期3カ年経営計画について



6. その他のトピックス（最近の取り組みなど）



## 2017年3月期 業績予想

(億円)	2016年3月期			2017年3月期				
	上期	下期	通期	上期	下期予想		通期予想	
					11月発表	2月発表	11月発表	2月発表
売上高	1,298	1,298	2,596	1,361	1,479	1,579	2,840	2,940
SE	819	838	1,658	916	983	1,088	1,900	2,005
GP	313	299	612	260	284	279	545	540
FT	159	156	315	179	195	201	375	380
その他	5	4	10	4	15	10	20	15
営業利益 営業利益率	108 8.3%	127 9.8%	235 9.1%	121 8.9%	168 11.4%	188 11.9%	290 10.2%	310 10.5%
経常利益	106	125	231	116	163	183	280	300
親会社株主に帰属する 当期純利益	84	103	188	94	135	150	230	245

注) 4Q想定為替レート>> 1USドル=110円、1ユーロ=120円

## 株主還元について <2017年3月期>

### 連結総還元性向25%を目指す

(2015年3月20日にリリース)

>>中期3カ年経営計画の目標達成時

(営業利益率10%以上、自己資本比率50%以上)

■期末配当金（予想） >> 75.00円（1株当たり）

通期の上方修正に伴い、増配（従来予想・70円）

+

自社株買いを実施予定（2017/2/7～3/31）

取得条件>> 20億円、または、33万株が上限

1. 2017年3月期 第3四半期 連結業績



2. セグメント別業績概況



3. 財務状況



4. 2017年3月期 業績予想



5. 中期3カ年経営計画について



6. その他のトピックス（最近の取り組みなど）



## 中期3カ年経営計画 "Challenge 2016" &lt;2014年4月-2017年3月&gt;

## 3つの目標&gt;&gt;

## ① 収益構造改革の完遂

最終年度の営業利益率10%以上

## ② 財務体質の強化

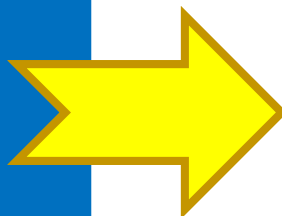
最終年度の自己資本比率50%以上

## ③ 新規事業領域での事業化

4つの新規事業領域で黒字化



○ 達成がほぼ確実に

△ 新規事業、  
次期中計での黒字化

方向性

## 次期・中期3カ年経営計画 <2017年4月-2020年3月>

- >> トップラインを伸ばす
- >> キャッシュ創出

企業価値向上を目指す

M&Aによる成長

オーガニックな成長

“Challenge2016”の成果>> 収益力・財務基盤の維持向上

1. 2017年3月期 第3四半期 連結業績



2. セグメント別業績概況



3. 財務状況



4. 2017年3月期 業績予想



5. 中期3カ年経営計画について



6. その他のトピックス（最近の取り組みなど）





## その他のトピックス（11月発表以降の取り組み）

2016年11~2017年2月

- HD>> ●世界初、冷間鍛造部品の外観検査技術を開発  
数十マイクロメートル単位の微細な傷を検出し、欠陥部品の流出低減に
- 日本格付研究所（JCR）による当社格付、1ノッチアップ  
「BBB」から「BBB+」へ格上げ
- SE事業>> ●半導体後工程のFOPLP向け露光装置を開発  
大型パネル用直接描画露光装置、世界最高水準の2μm解像度を実現
- Letiとレーザーアニール技術の共同開発に合意
- GP事業>> ●ヒラギノフォント、国際都市・神戸の多言語案内サインに採用される
- FT事業>> ●燃料電池製造装置を開発、製造時間を短縮、生産コスト低減に  
直接塗工法による量産製造技術を確立

**SCREEN**

**Fit your needs, Fit your future**

